

研究課題名	術後再建腸管を有する高齢者におけるダブルバルーン内視鏡下 ERCP の治療成績
研究期間	2026年 5月 19日 ～ 2030年 3月 31日
研究の対象	2015年4月～2025年12月に術後の再建腸管を有する膵胆道疾患に対してダブルバルーン内視鏡下内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査を行った方。
研究の目的・方法	<p>研究の目的</p> <p>近年、高齢化により胆道や膵臓疾患の高齢の患者さんに内視鏡を行う機会が増えています。その中でも手術で腸管を繋ぎ直した方（術後再建腸管を持つ方）では内視鏡の手技が難しくなることがあります。しかし高齢者の方に検査を行う際の安全性についてはこれまで十分な報告がありませんでした。</p> <p>本研究の目的は広島大学病院で術後再建腸管のある胆膵疾患に対し内視鏡検査を行った高齢患者さんにおける検査の安全性、有効性について明らかにすることです。</p> <p>研究の方法</p> <p>診療録（カルテ）を転記し解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：検査紙項目時、年齢、性別、使用スコープ、治療対象疾患、手術対象疾患、術式、腸管再建方法、処置時間、合併症、検査回数</p> <p>情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学教授 岡 志郎</p>
利用または提供を開始する予定日	2026年5月19日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	広島大学から外部の機関への情報提供はありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎</p> <p>研究機関の長</p> <p>広島大学理事 田中純子</p>
その他	<p>利益相反なし</p> <p>本研究に用いられた情報は、将来別の研究に利用する可能性があります。これを二次利用と言います。</p> <p>二次利用する際は別途倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。</p> <p>その際は、広島大学情報公開ホームページ（https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx）へ、その情報を掲</p>

	載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 消化器内科 担当者：野村理紗 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5193</p>